



まちに「おもしろいモノ」を探しに行きました。今まで気づかなかったモノをたくさん見つけることができました。



先生のつくったクイズの答えを探して、学校内を回りました。



自分で撮ってきた写真を、デザインしました。



下級生にクイズを出題しました。みんな楽しんでくれて自分たちの発見もしっかり伝えられました。



みんなで作ったクイズを出しあって、どこの写真なのか探しに行きました。見つかるかな？



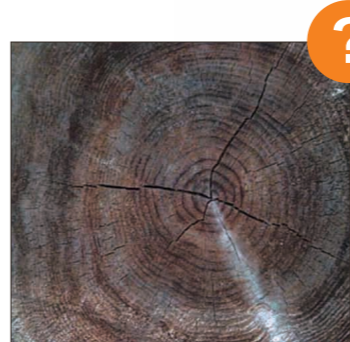
ここでは、モデルプログラムをもとに行った取り組みの様子を掲載しています。実際に取り組んだ学校の授業の様子や先生の声を事例集で紹介しています。併せてご覧ください。

これはどこだ？ 探してみよう まちパーツ

No. 02

身の回りにあるものの写真を撮り、クイズ形式で
出題し合う(屋根、壁、塀、看板、室外機など)。

クイズ! これはどこでしょう？



対象学年・関連教科

【対象学年のめやす】

総合的な学習の時間 ●小学校3・4年生

【関連する教科】

- 図画工作
- 社会

これはどこだ? 探してみようまちパーツ

1. 学習のねらい

- 小学校中学年の児童の実態を考慮して、身近な景観を構成する要素の多様性に気づき、その特性を感覚的に把握するとともに、その直接的な要因を意識するようになる。
- まず、見ることから観ることへとつなげるために、普段見慣れた景観に、遊びの要素を取り入れた活動を展開し、まちを構成する素材のよさやおもしろさに関心を持たせる。

2. 学習活動

- 出会う** ● 無意識のまま眺めていた景観の中にさまざまな表情があることを知る（素材との出会い）。
- つくる** ● 担当する地域にあるおもしろいと感じたモノの写真を撮り、問題をつくる。
- さがす** ● 他の班が写したモノの場所とそのモノ自体をさがす。
- 気づく** ● さまざまな素材に囲まれて生活していることに気づく（小学校中学年の「景観まちづくり学習」は「気づく」ことから）。

写真の例「これはどこでしょう?」



3. 準備するもの

【用具】

- デジタルカメラまたはレンズ付きフィルム（各グループに1台）
- デジタルカメラを使用した場合はプリンタ
- 写真を貼るための台紙
- 地域の白地図
- バインダー、筆記用具

【場所】

- 教室、学校内、学区域など

4. 学習の流れ(授業展開のイメージ)

	学習のねらい	学習活動	教師の指導	評価
STEP 1 【1時間】	見慣れた景色に意外なおもしろさがあることに気づく	<ul style="list-style-type: none"> ● 写真を見ながらどこか考える。 ● カメラの扱い方や撮影の手順を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校内で撮った“部分”の写真を提示し、クイズをする。 ● 撮影の手順とカメラを扱うときの注意点を指導する。 	活動の意欲(観察)
STEP 2 【2時間】	他の友だちと協力しながら探す	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域班ごとに5～6人のグループに分かれ、地図とカメラを持っておもしろそうなモノを探しに行く。 ● 見つけたモノの写真を撮る。場所と本体を地図に記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域班地図の準備。 ● 地域班ごとのグループ分けの指示。 ● 注意事項の確認。 ● 各班に1人大人が付き添えるように手配。 	課題追求能力(観察) コミュニケーション能力(観察)
STEP 3 【1時間】	見つけた所の写真を自分なりにプレゼンテーションする	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影した写真をもとにワークシートを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影した写真を美しく見せられるようにワークシートの形式をデザインできるようにする。 	表現力(作品)
STEP 4 【2時間】	自分や友だちの発見のよさに気づく	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のグループが作成したワークシートと地図を持って、その写真がどこの何の写真かを調査しに行く。 ● 調査結果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発表場所の設定。 ● 子どもたちのがんばったところ、視点のおもしろさを見つけ、言葉がけで評価する。 	表現力(発表・観察) 自己評価力(発表・観察)

5. 留意点

- 素材の写真は、掲示物としても十分楽しめるように台紙のレイアウト等デザインできるようにする。
- まち歩きの際の交通安全を確保する。特に、観察中や写真撮影中の児童は周囲への注意が疎かになりがちになるため、安全には十分配慮する。
- 大きな単元の導入部分として実施するのに適しており、他のプログラムと組み合わせることが望ましい。

6. 発展へのヒント

- 「No.03:よくよく見れば、あの場所に」、あるいは「No.04:まちの色・いろいろ」を行う。
- オリエンテーリング形式で、まちのおもしろいモノを探す。
- 時間や季節による素材の色や雰囲気の変化に着目する。